

# 契約中の方へ



モデルプランに見直しでしょうか！

重要

公務員の定年延長が始まり、財形年金共済も年金受給開始年齢を選ぶなどの変更を行いました。  
まだ契約の見直しをされていない方は、今回、ぜひご検討ください。

## 50代で申込書が配付されている方へ

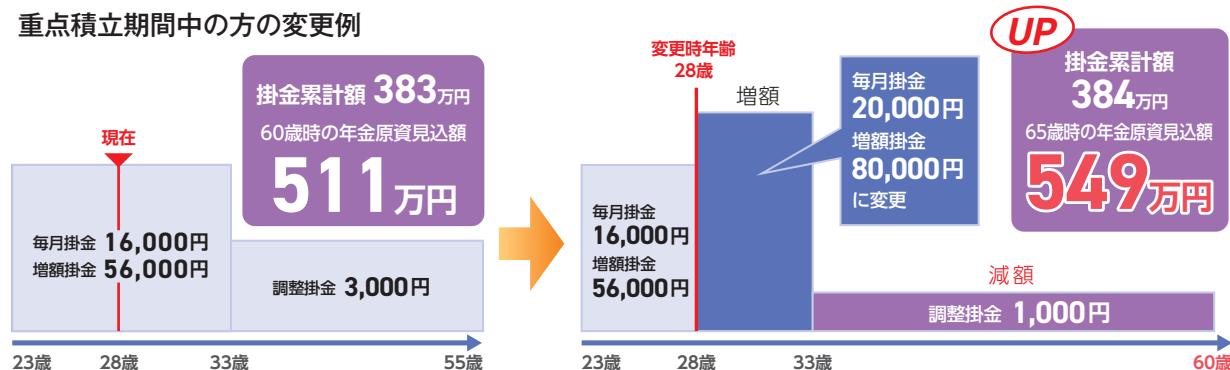
今回の募集が、**変更の最後のチャンス**となる方もいらっしゃると思いますので、必ずご確認ください。

年金受給開始年齢を引き延ばさずに60歳から受け取り、60歳以降の給与の減額分に財形年金を充てることもできます。個人の生活設計に合わせて設定してください。

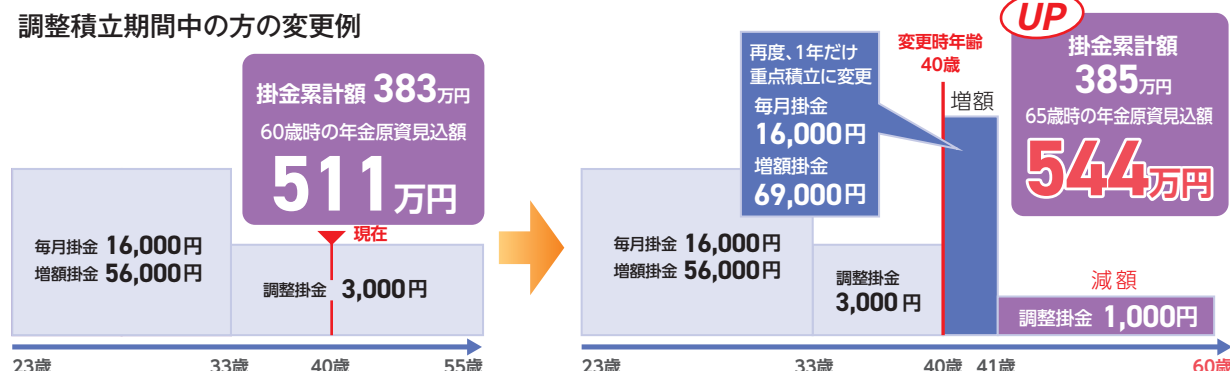
### 年金原資額を増やすコツ

調整掛金を1,000円に減額した上で、共済掛金払込期間を60歳まで延ばし、65歳から年金を受給することで、年金原資をより増やすことができます。

#### 重点積立期間中の方の変更例



#### 調整積立期間中の方の変更例



注 上記の年金原資見込額は確定したものではなく、組合で適用する計算の基礎(予定利率等)により計算します。予定利率は、金利水準の低下その他著しい経済変動等、契約の際予見することができない事情の変更により、将来変更することがあります。

## 「モデルプラン」への見直しをご検討ください。

お配りしている申込書は、年金受給開始年齢を定年年齢※に対応させたモデルプランを表示しています。共済掛金の額を変更し、長期間積み立てることで、年金額をより多く受け取ることもできます。**変更を希望する方は、希望のプランに○を付けて提出**してください。

※ 「定年年齢」とは、法律で定める公務員の定年退職の年齢をいいます。

モデルプランは、原則、モデル1から年金原資見込額が多い順に表示しています。